



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukuyada>

学校だより

令和6年2月29日

3月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

一年間の学びを次につなげて

校長 角井 治朗

少し早く訪れた春一番に続き、校庭の河津桜が満開を迎え、あっという間に季節は春に近づいてきたようです。心配されたインフルエンザ等の感染症も大きく広がることなく、子どもたちが元気に過ごすことができていることに、ほっとしているところです。また、先日は、今年度最後となる授業参観、懇談会に多くの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。一生懸命学習に取り組む様子、生き生きと発表する姿、そうした一つひとつに、子どもたちの一年間の成長を感じていただくことができていたら幸いです。また、2月20日には、今年度最後となる学校運営協議会が開催されました。学校運営委員の皆様にご来校いただき授業の様子をご覧いただいた後、子どもたちの様子や今年度の学校の取組についてご意見をいただきました。子どもたちが楽しそうに学んでいる様子や子ども同士の学び合いの様子、タブレット等のICT機器がいろいろな場面で活用されている様子などに対して多くの前向きな感想をいただきました。

さて、以前にもお伝えしたことがありますが、今年度、本校では、生活科・総合的な学習の時間を中心とした校内研究を進めてきました。子どもたちの興味や関心をもとに、主体的に学ぶ姿勢を身に付けるとともに、コロナ禍で途切れたり、弱くなってしまったりした子ども同士やまちの人と豊かなかわりを再構築することも大切なねらいに据え、各学年、学級が工夫しながら取り組んできました。一方、こうした活動を支えるもう一つとして、今年度は、地域学校協働活動事業「横浜深谷台の子どもたちを育てる会」の活動の推進にも取り組んできました。この活動は、横浜市から委嘱された学校・地域コーディネーターが中心となって、地域で活動されている様々な企業、団体や個人、あるいは学校の活動に何かできることがあればと考えてくださっている方々と学校のニーズをつなぎ、子どもたちの学びをサポートしていただくものです。おかげさまで、この一年間だけでも様々なご支援をいただき、学校の中だけでは知りえない様々な「まちの力」を感じることもできましたし、こうした支援を受けながら意欲的に活動に取り組んできた子どもたちの学びは、今後さらに充実したものにつながっていくことと思います。今年度、お力添えいただいた方々に改めて感謝いたしますとともに、子どもたちが、自分たちが暮らすまちのよさに気づき、大切にしていこうとする思いを益々膨らませることができるよう、今後もこうした取組を進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、この一年、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいた保護者、地域の皆様にご改めて感謝申し上げますとともに、次年度もどうぞ変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。